

で

に磨き

茨城県稲敷郡阿見町阿見

方針について縦横に語った  
長いお付き合いになるお取引先が多い。そのため、な  
目へと継承されている会社  
さんもある。一方で、昔な  
がらの創業オーナーのよう  
なカリスマ性を持った経営  
者さんの中には、高齢を理  
由に勇退されるケースも出  
始めている。当社におい  
ても今までにないような新し  
い取引案件も増えており、  
そうした面では過去から現  
在、様々なお取引先とのお  
付き合いの中で、時代の流  
れやうつろいというものを  
肌で感じることが多くなっ  
てきた

——時代の流れを最も意  
識することは。

肌の上でシルクのような感  
触が持続するという。  
「ミリオナ化粧品は「化粧  
品開発と美容健康サブリの  
今後の展開と可能性につい  
て」というテーマで「内外  
美容」をコンセプトにした  
同社の商品開発事例を紹  
介。ヒタミンCを主剤とし  
たサブリメントやローショ  
ンなどが披露され、内外美  
容の今後の可能性について  
講演した。

このほか、ニコスタビー  
ニテック、セレス、フェ  
イスラボなどのOEM企業  
も講演した。

「例えば、当社のクライ  
アントの販売チャネルにつ  
いて、インターネット販売  
が非常に増えている。さら  
に最近では、SNS（ソ  
シャル・ネットワーキング  
・サービス）による「仕掛  
け」を使った販促活動が増  
えているようだ。ただ、ど  
れほど時代が変わろうと  
も、我々の本業はお取引先  
と密なやり取りを行い、要  
望に応える化粧品を良品提  
供すること。そのためには  
容器屋さん、原料屋さん、  
パッケージ屋さん、その他  
様々な人たちの助けを借り  
なければならぬ。皆さん  
の力を借り、一から商品をつ  
くり上げる。それが我々

# 顔用マスクOEMが伸長 アズマゲル状パットも供給



齋藤 徹専務

バックやフェイスマスク  
など、貼るタイプのスキン  
ケア化粧品に特化したOEM  
メーカーのアズマカラー  
（埼玉県さいたま市岩槻区  
古ヶ場、048-793-136  
61）の齋藤徹専務は2月  
8日（金）記者会見し、同社  
の近況と今後の方針につ  
いて大要次のように語った。

「、当社は食品包材のケ  
ラヒエ印刷事業を行う吾妻  
カラーとして埼玉県さいた  
ま市岩槻区で創業した。化  
粧品事業は2011年にM  
C事業部化粧品専用工場  
が目の前に用意され、自  
由にブロックを選択し、  
積み上げていくことで最  
終製品を作るようなもの  
だ。化粧品をカスタマイ  
ズするプロセスに価値が  
ある一方で、パーソナラ

「取引先により長いサ  
ービスや商品を提供するた  
めの社内体制の整備などは  
会社として大前提で進めて  
行く。一方、社長という立場  
からはノブレスという会社  
を、次代を担う後継者へス  
ムーズに継承する準備を進  
めていきたい。取引先さん  
はもちろんのこと、社員や  
彼らの家族といった、ノブ  
レスという会社を支えて頂  
いている皆さんに末永く安  
心して頂ける形の事業継承  
を進めていきたい」

「2019年の当社は、  
変化するのではなく、強み  
に焦点を当てる1年にした  
い。これまでも取引先さん  
を設立。フィルム技術を活  
かした化粧品製造業を開始  
したことに端を発し、当初  
はゲル状のシート素材を化  
粧品メーカーに供給。12年  
に化粧品製造販売許可を  
取得し、翌年から化粧品O  
EMを開始。処方開発も自  
社で行っている。

「、近年は市場における  
不織布フェイスマスクの需  
要増や、それに伴う貼るタ  
イプの化粧品の認知が広が

永廣堂本店（大阪市東淀  
川区大桐、06-63327-  
9821、今井俊郎社長）  
は2月8日（金）、東京・  
内神田で原料セミナーを開  
催した。



夢をかたちにした。

「の密なやりとり、要望に  
合った化粧品の開発、小ロ  
ットでの提供に力を入れて  
きたが、今年は、これを改  
めて意識し、改良強化して  
いくつもりだ。そして、こ  
の強みを活かし、変化に負  
けない会社になりたいと考  
えている。また今年には平成の  
時代が幕を閉じ、新元号の  
もと新しい時代がスタート

ってきたこともあり、当社  
OEMの依頼もかなり増え  
てきている。  
一、当社の技術的な特徴  
として、フィルムパッケー  
ジ作りで培った技術を生か  
して開発した「GEL（ゲ  
ルシート）パック」がある。  
これは美容成分を布状のシ  
ートに浸み込ませる「一般  
的な不織布パックなどは異  
なり、ゲル状のシートその  
ものをほぼ美容成分で成形

「、当社ではフィルムパ  
ッケージの製造も内製化し  
ており、細かい色合いや、  
ロゴの色表現など、製品の  
袋になる前に色調の確認を  
行うことができ、小さい変

たのが、自社独自の化粧品  
原料として紹介されたオリ  
ジナルの発酵エキス。今回  
は同社がこだわったという  
「米麹発酵液」のシリーズが

する。ただ、新しい年にな  
っても変わらないでいたい  
ことは、社員の皆さんの手  
助けをしたいということ。  
昨年当社は新しい社員が増  
え、それぞれが挑戦する意  
識を持って切磋琢磨し、社  
内により働きやすい環境が  
醸成されたと感じている。  
そうした良い流れの中で、  
今年も社員が心配なく働け

したマスク。密着性が高く、  
乾燥を気にせず、家事等  
しながら手軽に長時間パッ  
クできる。また、美容オイ  
ルベースで油性成分を配  
合しやすい「オイルゲルシ  
ートパック」も開発してい  
る。このほか、不織布に美  
容液をたっぷり浸した一般  
的な美容フェイスマスク  
や、バイオセルロースマス  
クの受託製造も行ってい  
る。

「、規模を活かした小回  
りの効く対応も評価頂いて  
おり、今年には、印刷パッ  
ケージの小ロット多品種対応  
への対応強化に向けた設備  
投資を検討している。

紹介され、コメ発酵液（アミ  
ノ酸タイプ、オールインワ  
ンタイプの2種）のほか、黒  
米発酵液やレンゲソウ米麹  
発酵液、珈琲米麹発酵液、白

ご要望に応じたOEMをこ	シャンプー	ヘアカラー
	トリートメント	スタイリング剤

**近代化学株式**  
0120-965-126 ヘアケアエ  
support@kindaikagaku.co

る会社にしていきたい。一  
方で対外的には、常に大切  
にしている。お客様との繋  
がりや、おかげさまでさら  
に広がっていることから、  
お取引先を後方支援するよ  
うな商品アイテムを増やし  
ていきたい。当面、一つの  
試金石になるような商品  
をお取引先と共に生み出し  
ていきたいと考えている」

更であればその場で調整す  
ることも可能。  
一、主な製造設備として、  
1℃単位での温度管理が行  
える加温タイプの攪拌釜を  
導入。この真空攪拌機は最  
大140℃まで加温可能なた  
め、100℃以上の高温下で攪  
拌しなければならぬオイ  
ル素材のGELから、90℃  
前後で攪拌が必要なハイド  
ロGELまで幅広く対応可  
能

と黒の2タイプ」と、実物  
のサンプルも配布された。  
なお、同社では、顧客が  
企画する原料や持ち込みさ  
れた原料素材をベースに米  
麹で発酵させ、顧客オリジ  
ナルの米麹発酵液を提供す  
るサービスも行っている  
（INCI申請から表示名  
称取得まで、およそ8カ  
月）。

## 再確認 リスク

日本粧業会は1月30日  
（水）、東京・虎ノ門のニ  
ッショーホールで「化学物  
質のリスクと管理に関する

ド